ユネスコスクール（ASPnet）

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
UNESCO Associated Schools

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：２０１２年４月～２０１３年３月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、ＨＰ等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

１．学校概要

学校名　見附市立見附小学校

種別　□保育園・幼稚園　■小学校　□小中一貫教育
□中学校　□高等学校　□中等高等学校
□教員養成　□技術/職業教育
□その他（　　）

住所　〒954－0052
新潟県見附市学校町１丁目３番８９号

E-mail：misho@mitsuke-ngt.ed.jp

Website：http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/~misho/

児童生徒数：男子 348 名　女子 297 名　合計 645 名
児童・生徒の年齢 7 歳～ 12 歳

２．担当者

３．実施活動（複数選択可）

□　地球規模の問題に対する国連システムの理解
□　国際理解
□　世界遺産
□　平和・人権
■　環境
□　気候変動
□　生物多様性
□　エネルギー
□　防災
□　食育
□　伝統文化
□　そのほか（　　）

４．活動概要

１年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

活動時間について（下記から選択して下さい。）

■　通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
□　時間外活動の時間を使用　　□　ユネスコクラブの活動として実施
■　その他（ユネスコ委員会の活動として実施）

【目指す子どもの姿】

・具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりやつながりに気付き、環境問題や自己の生き方について自分の考えをもつことができる。
＜花や緑に親しむ子＞　＜人や自然と主体的にかかわり学んだことを生かそうとする子＞

【ユネスコスクールプロジェクト】

平成２４年度は「①総合学習・生活科における花育」「②前庭及び花樽プランターを活用した花いっぱいプロジェクト」「③児童会主催のエコスクール活動」を３本柱とし，花や緑，人との関わりやつながりを重視した環境教育を行った。

＜各学年の花育＞

１年生	アサガオアーチ　サツマイモを使った収穫祭
２年生	保護者と一緒に大根パーティー
３年生	「園児と交流しよう」　地域住民や園児と一緒にプランター作り
４年生	「地域の人と花を育てよう」　前庭カンナ栽培とリーフレット作り
５年生	「グリーンカーテンに挑戦しよう」　温度差調査と環境啓発運動
６年生	「感謝の気持ちを伝えよう」　卒業に向けて一人一鉢運動

＜花いっぱいプロジェクトの流れ＞

１学期	花いっぱいＰＪ①②　愛育会環境整備（花壇作り）　花樽コンテスト 町内ごとの水やり　花がら摘み
２学期	花いっぱいＰＪ③④　花樽コンテスト　町内ごとの水やり　花がら摘み
夏期休業中及び土日の水やり　（学校職員・愛育会教育環境部）	
８月上旬　見附市花いっぱいコンテストへ参加	

【成果と課題】

◎児童アンケート「花や緑を育てることが好きですか」の結果、肯定的な評価が１学期は８０％、２学期は７７．８％となった。「花や緑に親しむ」という目標は達成できたと考える。

○花育指導計画を見直しながら、各学年ごとに総合・生活科における花育の充実を図ることができた。反面、今年度からスタートした児童主体の花育ということもあり、計画通り進まなかった活動もあったようだ。今年度の活動を踏まえ、来年度はただ花や野菜を育てるだけでなく、「花や緑、人とのかかわり」を意識した活動を展開していく必要がある。

○６年生を中心に、町内ごとに花樽管理を行ったことはよかった。日々の水やりや花樽コンテストなど、子どもたち主体的に活動する姿が多く見られた。土日の水やりに保護者の協力を得られたことはよかったが、来年度から発足するコミュニティスクールを考えると、もう少し保護者や地域が花樽や前庭花壇に参加することも可能である。

○児童会（飼育栽培委員会・ユネスコ委員会・給食委員会・ボランティア委員会）を中心にエコ活動に取り組むことができた。来年度はプールだけでなく、花育にもＥＭ菌を活用し、循環型の栽培活動を目指す。

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。※公表しません

□　紙媒体の参考資料（新聞、出版物など）　□　CD-ROM　■　写真

□　その他（　　）